

サステナビリティ活動報告



- 人権の尊重
- 働き方改革、働きがいの向上
- 労働安全衛生の確保
- 品質管理活動
- サステナブルな調達
- 知的財産管理
- 社会貢献活動

人権を尊重した社内環境整備

積水樹脂グループでは企業行動指針として、国内・外を問わず人権を尊重し、平等・公平に行動するとともに、従業員のゆとりと豊かさを実現し、安全で働きやすい職場環境を確保するように定めています。多様な人財の多様な価値観を認めあい、出生、国籍、人種、信条、性別、障がい、性的少数者(LGBT)などを理由とした差別や偏見のない職場環境の実現に向けて、新入社員・中途社員入社時研修をはじめ、講義・ビデオ等によるハラスメントなどの人権課題に関する研修を適宜実施し、啓発活動に取り組んでいます。

働きやすい職場環境の確保

- ・セクハラ、パワハラ、マタハラなどの「職場のハラスメント」やこれと誤解されるおそれのある行為を行いません。
- ・仕事の見直しによる業務効率化・生産性向上に取り組むことで、継続的に長時間労働を撲滅します。
- ・男性育休の取得率向上に向けた取り組みを行い、2023年度末までに取得率100%を目指します。

安全で衛生的な職場環境の確保

- ・職場における安全・衛生の確保を最優先課題と考え、労災防止、職場環境の向上につとめます。
- ・全事業所(50名未満の事業所を含む)におけるストレスチェックの実施と集計結果の活用により、従業員の心の健康(メンタルヘルス)に配慮し、健康でイキイキとした職場づくりを進めます。

安全運転の徹底

- ・交通安全製品に携わる企業の一員として、安全運転を徹底します。

TOPICS

働きやすい職場環境の推進

従業員がより一層働きやすい職場環境の実現および業務効率化や生産性の向上を目的として、事務所のレイアウトの変更や什器の更新、事務所移転やシェアオフィスの活用等、オフィス改革を積極的に進めています。従業員の様々な働き方に対応するべく、1名用WEBミーティングブースや「協働」に適したコラボコーナー、部門間を超えた気軽なミーティングができるオープンボックス席等を設け、オフィス空間を従前の「事務作業・資料作りの場所」から「成長を加速させるコラボレーション空間」への変化を目指しています。



東京本社

働き方改革

多様な働き方への取り組み

仕事と家庭との両立支援を進めることにより、従業員は能力を最大限に発揮し、仕事の成果と会社全体の活力を生み出すことができます。積水樹脂グループでは、業務効率化や生産性向上、育児・介護と仕事の両立支援などの働き方改革を継続して推進しています。

■主な取り組み

1. 時間外労働の削減
 - ・パソコン使用時間制限の設定
 - ・勤怠管理システムによる就業時間管理
2. 年次有給休暇の取得推進
 - ・有給休暇を取得しやすい制度の活用
3. 多様な働き方
 - ・リモートワークの環境整備を進め、テレワーク制度を導入
4. オフィス環境改革
 - ・事務所移転やオフィスレイアウト変更、什器の更新を推進

働きがいの向上

自律型人財の育成支援

従業員に幅広く学びの機会を提供し、一人一人の成長を加速させ、積水樹脂グループの「経営理念」および「ビジョン」を実現するために、現在、自律型人財の育成、マネジメント教育の強化、ダイバーシティ&インクルージョンを人財開発施策の主軸とした、階層別、選抜型、選択型等、教育研修プログラムの再構築に取り組んでいます。

従業員の持続的な成長を促す制度

キャリア自立のための選択型研修制度 (自己啓発支援)

従業員の自律的・主体的な行動への気づきを促し、継続的な学びと成長の機会を提供することを目的に、ビジネススキルや語学(英語)の動画学習・e-learningを導入しています。

受講完了要件を満たした従業員には受講料の一部を補助することで、従業員の更なる能力開発向上を支援しています。

資格取得奨励金制度

従業員の自己啓発意欲の高揚と知識・技術・技能の向上をはかるため、各種資格を取得した従業員に対して報奨金を支給する、「資格取得奨励金制度」を導入しています。

ITを活用した業務改革

業務の生産性や品質の向上のため、グループ全体でITを活用した業務改革に取り組んでいます。業務の効率化を進め、社員間のコミュニケーションが活性化する職場環境づくりに取り組むことで、更なるお客さまサービスの向上につなげていきます。

■主な取り組み

1. RPA等を活用した入力業務や資料作成の自動化
2. ワークフローシステム拡充やペーパーレス化推進
3. 支払手形、受取手形の電子化
4. 社内ネットワーク環境の整備
5. 営業支援システム導入等の営業DX推進
6. ノートPC、スマートフォン等のモバイル通信機器の導入拡大
7. WEB見積り・部材展開システムの導入を推進

ビジネスリーダーの育成 (階層別教育)

階層ごとに求められる業績向上に必要な、全社員共通の基礎能力やスキルの習得を目的に、新入社員から部長クラスまでの体系的な人財育成が図れるよう、2023年2月より新たに構築した階層別教育を実施しています。



経営職研修

積水樹脂グループ安全衛生方針

積水樹脂グループ全従業員が健康で安全に事業活動を推進できるよう、
職場環境づくりに取り組みます。

1. 全従業員が「安全最優先」のもと行動します。
2. 労働安全衛生に関連する法令及び各事業所で規程されるルールを遵守します。
3. 安全衛生活動の継続的改善につとめます。

全社を挙げての安全衛生活動

年に2回実施する積水樹脂グループ無災害運動などを通じて全従業員への「安全第一」への意識を高めるとともに、場内安全パトロール、設備や人が変わった時(変化点)の安全確認、熱中症予防、交通事故防止対策等を通じて安全活動の強化を行うなど、積水樹脂グループを挙げて労働災害の撲滅に取り組んでいます。

衛生活動

作業環境の改善や従業員の健康管理にも継続して取り組んでいます。衛生パトロールや、専門機関による保護具の使用・管理状況のパトロール、保健師による健康相談など専門家の意見もいただきながら、作業環境の改善・健康管理に取り組んでいます。



心肺蘇生方法及びAED使用方法 講習会

安全教育

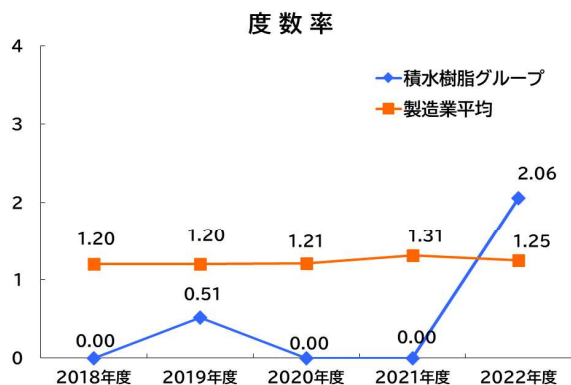
各生産事業所では年度安全衛生活動計画において、従業員に必要な安全教育を計画し実施しています。特に現場においては、危険への感受性を高めるための4RKYTの習慣化、1人危険予知の実践により、労働災害に合わない人づくりを進めています。「安全道場」では、指差呼称から各種災害事故の疑似体験(VR含む)による教育を定期的に行っています。



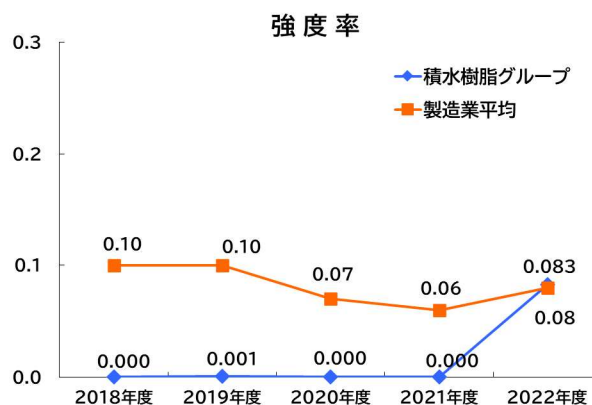
安全道場での疑似体験(粉じん爆発) VRによる疑似体験

労働災害の発生状況

2022年度、積水樹脂グループ全体で9件の労働災害(うち休業労働災害:4件)が国内事業所で発生しました。災害が発生した事業所では、原因を分析・究明するとともに直ちに再発防止対策に取り組み、またグループ内での類似箇所調査・水平展開を実施して、同様の労働災害が発生しないように取り組んでいます。



度数率: 100万延労働時間当たりの労働災害による死傷者数をもって、労働災害の頻度を表したものです。



強度率: 1,000延労働時間当たりの労働損失日数をもって、災害の重さの程度を表したものです。

推進体制

各生産事業所ごとに品質管理委員会を設置しています。この委員会では、品質改善やお客様に満足していただける製品づくりのため、年度ごとに品質目標、重点実施項目、推進計画を定め、実施状況の管理・フォローを行っています。主要生産事業所では、ISO9001に基づく品質マネジメントシステムを構築し、認証登録を継続しています。

データ編:ISOの認証取得状況は69ページ

主な取り組み

製品品質の評価・改善

性能確認試験走路「道夢道(どうむどう)」には、「走踏試験機」や「落錘試験機」、「音響測定試験棟」などがあり、製品開発において、これらの試験機を活用し、実物での製品安全性や耐久性の検証を行い、製品品質の評価・改善を行っています。また新規基盤技術研究所では、各種分析装置、耐久性試験機等を用い、素材レベルの性能を評価しています。2023年度には、金属、樹脂、塗料、無機物など全ての固体試料の観察と元素分析が可能な、最新の電子顕微鏡を導入しました。新製品開発、品質改善に向けて活用を進めています。



電子顕微鏡による塗料の観察と分析

クレームへの対応と再発防止

お客様からのクレームは、各営業部門にて受け付けた後、品質管理部門、製造部門、技術部門が連携し、当該クレームだけでなく類似案件の調査・対応を含めて、再発防止対策を実施しています。再発防止対策の実施後は、効果の確認を行い対策の妥当性を検証しています。

品質情報の共有

クレーム発生状況やPL情報については、社内イントラネットを活用し、品質管理情報として共有しています。また、公的な認証等を取得している製品の情報についても開示しています。

製品事故予防

製品事故予防のために、以下の取り組みを行っています。

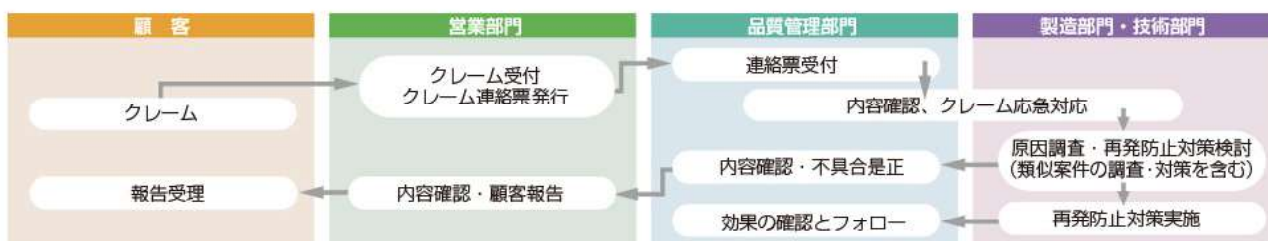
(1) 製品開発段階での危険性予測

製品の潜在的な危険性を製品開発の各段階でチェックしています。確認された安全上の問題は、設計変更など仕様の変更を行うとともに、必要に応じて、取扱説明書などで使用者への注意喚起を行っています。

(2) 取扱説明書のPLチェック

「取扱説明書作成ガイドライン」を整備し適切な取扱説明書の作成に役立てるとともに、使用者へ正しい製品の取り扱い情報を提供しています。また、近年は動画を用いての製品説明が増加傾向にあり、動画作成時の注意点をとり纏め、適切な情報提供となるようチェックしています。

■クレーム対応フロー



調達基本方針に基づく購買活動

当社グループは、中長期的な企業価値向上のためには、お取引先様との共栄が不可欠であると認識しており、「企業行動指針」においてお取引先様との信頼関係の構築、相互の発展を掲げております。社会的責任に配慮したサステナブルな調達活動を実現することを目的とする調達基本方針に基づき、サプライチェーンの構築および購買活動を行っています。

今後、調達基本方針に基づき、お取引先様とのコミュニケーションのさらなる充実を図るとともに、お取引先様とともに事業活動を通じた社会的な課題解決に貢献できるよう、引き続きサステナブルな調達活動に取り組んでいきます。

調達基本方針

私たち積水樹脂グループは複合技術を活かし、安全・安心・環境をキーワードとした価値ある製品とサービスの提供による事業活動を通じて、社会的な課題解決に貢献してまいります。

調達活動においても、それを可能とする材料や技術をとともに探求できるお取引先様を求めています。お取引先様との共栄を進めることでより深いパートナーシップを目指し、以下の方針に基づいた調達活動を行います。

○ 人権・労働環境への配慮

国内・外を問わず人権を尊重し、平等・公平に行動するとともに安全で衛生的な職場環境づくりを推進します。

これらについて、お取引先様とともに取り組みます。

○ 品質・安全確保

安全・安心な製品・サービスを提供するために、お取引先様とともに品質と安全性能の維持・向上につとめます。

○ 公平・公正な取引

品質と経済合理性に優れた資材調達を基本に従来の商習慣や国の内外にとらわれない公平で公正な調達活動を推進します。

○ 法令・社会規範の遵守

法令・社会規範や倫理に基づいた調達活動を推進します。

○ 環境への配慮

地球環境に配慮した原材料・サービスなど、環境負荷低減に繋がる調達を推進します。

知的財産に対する基本的な考え

積水樹脂グループは、他者の知的財産を尊重するとともに、他者の知的財産権に対しては回避・予防策等の適切な措置をとっています。また、当社グループの事業活動に伴って創出される知的財産を適切に保護・管理し活用につとめています。あわせて毎年、保有権利の内容を精査し、権利維持要否の判断を行なっています。

他者の知的財産権侵害防止

当社グループでは、研究・開発段階において他者の知的財産権を侵害しないよう、他者権利状況を調査・分析しています。また、最新の特許情報(公開・登録)を定期的に調査し、研究・開発部門へフィードバックしています。

知的財産の保護

当社グループの事業活動に伴って創出された知的財産については、権利化やノウハウによる保護など、発明内容に応じた適切な権利保護を行っています。

また、他者による当社グループ保有権利の侵害などについては、特許事務所と連携し厳正に対応しています。

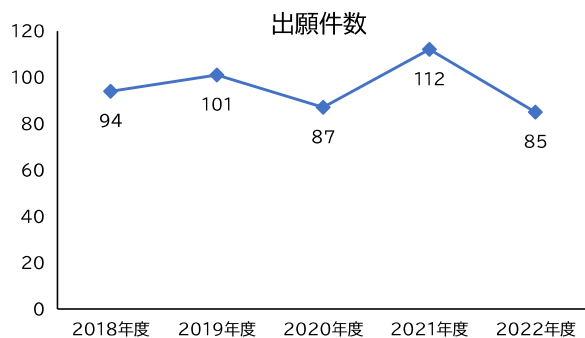
発明者への評価

事業活動を通じて創出された職務発明等については、当社知的財産規則に基づき報奨金を支給しています。また、当社事業に大きく貢献した特許権等に対しては毎年11月の創立記念日で表彰するとともに特別報奨金を支給しています。

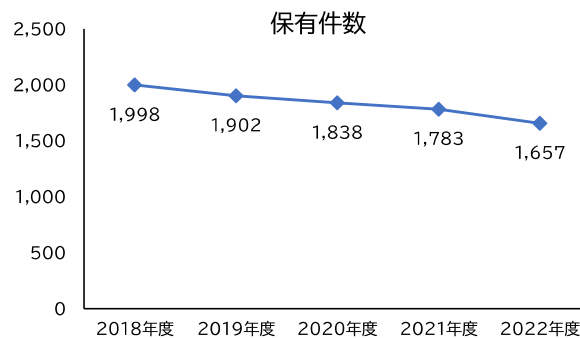
知的財産教育

研究・開発員の階層・経験年数に応じた知的財産教育を実施しています。知的財産の制度に関する一般的な教育だけでなく、特許明細書の読み方や、特許情報検索など研究・開発業務に役立つ内容で実施しています。

出願・保有の状況



※ 特許権、実用新案権、意匠権の合計件数です。



※ 特許権、実用新案権、意匠権の合計件数です。

「公益財団法人 交通遺児育英会」の活動支援

様々な社会貢献活動を通して、社会との絆を深めています。

交通安全に携わる企業として、保護者が交通事故で亡くなる等の理由で経済的に修学が困難になった子ども達への就学を支援する「公益財団法人 交通遺児育英会」に対し、車線分離標「ポールコーン」の収益の一部を寄付する取り組みを2011年より、継続して行っています。



■褒状受章歴

継続的な取り組みをご評価頂いています

- ・2013年 褒状受章
- ・2014年 褒状受章
- ・2018年 褒状受章
- ・2021年 褒状受章



※感謝状は2013年より12年連続受章

■活動支援の仕組み

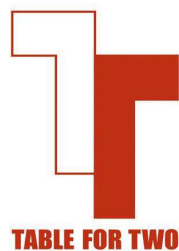


NPO法人との協力による活動

NPO法人と協力して様々な社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

■ TABLE FOR TWO

「TABLE FOR TWO プログラム」に参加し、対象となる食事や飲料を購入することで、購入金額の一部をアフリカの子どもたちの給食費として、寄付しています。



■ BOOKMAGIC

2011年8月から、「BOOK MAGIC」を定期的に行っています。不要な本やCDを売却し、その売上をNPO法人JENに寄付することで、開発途上国の教育サポートプログラムに役立ててもらおう取り組みです。

